



1



2



3



4



5



6



7

大森 晓生(1971～)は、動物や鳥を主なモチーフに、写実表現と幻想性をあわせ持つ作品を制作する彫刻家です。カラスの舟、月夜にたたずむ架空の生き物、角を生やした狼や象。大森は「誰も見たことがないもの」を求める心が創作の原点であると語っています。そこから生み出された作品は、純粹で静謐な意志を宿し、「靈氣」とでも呼ぶべき気配を帶びています。

この展覧会では、人物や動物像をはじめ、鏡の効果を用いた「in the frame」シリーズ、ファッショングランプとのコラボレーション作品など、これまでの制作の軌跡に最新作を加え、木彫や金属による彫刻約100点を作家の言葉とともにご紹介します。

[会期中のイベント]

*各事業の詳細・申込方法はHPをご覧いただくか、直接お問い合わせください。

インスタライブ「大森晓生ギャラリーツアー」

当館Instagramアカウント@gunmatatebiにてライブ配信
7月12日㊁ 午後7時～(約30分)

アーティスト・トーク

7月21日㊁、8月18日㊁ 各日午後2時～(約40分)
[申込不要・要観覧料] ※終了後、サイン会を予定しています。

学芸員による作品解説会

7月31日㊂、8月31日㊁ 各日午後2時～(約40分)
[申込不要・要観覧料]

ワークショップ「きらきらミラーワールド」

8月24日㊁ 午後1時～3時30分
[要申込／100名・無料] ※応募多数の場合は抽選
協力：群馬県立女子大学 奥西ゼミ

みんなのアトリエ「多色摺り木版画の摺り体験」

7月18日、7月25日、8月8日、8月22日(いずれも木曜日)
各日午後1時30分～4時 [申込不要・参加費100円]
※自由な時間に参加できます。
講師：土屋未沙(木版画家)

たてび☆キッズウォーク

7月27日㊁、8月17日㊁ 各日午前10時～11時30分 午後1時～2時30分
[申込不要・中学生以下対象・無料]
※自由な時間に参加できます。参加記念品付き

ポンポン・ツアー

9月8日㊁ 午後2時～2時30分 [申込不要]
※参加記念品付き

[交通案内]

車：東北自動車道 館林I.C.から約9km

北関東自動車道 太田桐生I.C.から約15km

バス：「館林駅西口」から、多々良巡回線にて「県立館林美術館前」下車すぐ(日・祝は直行便あり)

「多々良駅」または「館林駅西口」から、多々良北線バス(火・木・土のみ運行)にて、「美術館西」下車、徒歩5分



バスの時刻表はHPをご覧ください。

徒歩：多々良駅から約1.2km(約20分)

タクシー：館林駅から約4km(約10分)

【東京都内からのご案内】

- 浅草駅または北千住駅から東武スカイツリーライン・伊勢崎線にて館林駅または多々良駅下車
特急「りょうもう」の場合、浅草駅(北千住経由)～館林駅間は約60分
- JR 宇都宮線ご利用の場合は、久喜駅で東武伊勢崎線に乗り換える(久喜駅～館林駅間は約30分)

[インフォメーション]

群馬県立近代美術館 TEL.027-346-5560

「英國キュー王立植物園 おいしいボタニカル・アート」
7月13日㊁～8月25日㊁

足利市立美術館 TEL.0284-43-3131

「生誕100年 相田みつを展 一命を見つめることばー」
7月13日㊁～9月1日㊁

館林市第一資料館 TEL.0276-74-4111

「第10回新収蔵資料展」4月27日㊁～9月1日㊁

1 『Swan in the frame (Type-A)』2005年 個人蔵

2 『ぬけない棘のエレファント』1999年 作家蔵

3 『森神-Silver back-』(そごう美術館での展示風景)2023年 作家蔵

4 『カラスの舟は昇華する』1996年 作家蔵

5 『光の肖像—エリザベスカラーのまいたけ—』2017年 作家蔵

6 『死に生ける獣-Babirusa-』2016年 個人蔵

7 『Gothic Casa Blanca』2007年 個人蔵

Photo: 1, 3, 5-7Katsura Endo / 2 Kei Okano / 4 D.B.Factory
©AKIO OHMORI



群馬県立館林美術館

〒374-0076 群馬県館林市日向町 2003
TEL.0276-72-8188(代表) FAX.0276-72-8338
<https://gmat.pref.gunma.jp/>